

平成 16 年 9 月 29 日

報道関係者 各位

沢井製薬株式会社

ジェネリック医薬品の認知率、継続して向上

沢井製薬（大阪市・社長 澤井弘行）は、今年 7 月から 9 月にかけてテレビ、ラジオ、新聞等の媒体を使用したジェネリック医薬品のプロモーション活動を展開致しました。その前後の期間においてジェネリック医薬品に関するアンケート調査を行いましたのでご報告させていただきます。なお今年 6 月 2 日に発表致しました調査と同様に、（株）インフォプラントの調査パネルを使用したインターネット調査を行っております。

ジェネリック医薬品の認知率はテレビCMを放映していない期間もほとんど落ちることなく順調に上昇しています。これはジェネリック医薬品が弊社らの啓発活動だけでなく、医療現場での広がり、テレビ番組や雑誌での特集など様々な場面で話題になっていることが要因として考えられます。世代別に見ると、男性の 40 代と 50 代、女性の 40 代においての伸びが高くなっています。

またジェネリック医薬品の処方希望が高い率で推移しているにもかかわらず、依然として処方経験や処方依頼が数%と大変低い状況が続いています。大病院での一般名処方の開始など徐々に環境は整いつつありますが、ジェネリック医薬品を希望する患者さんが気軽に処方を依頼できる環境にはまだまだ至っておりません。

当社はこれからも啓発活動に取り組むとともに、“なによりも患者さんのために”を基本とした環境の整備についても貢献していきたいと考えております。

お問い合わせ先

沢井製薬株式会社 経営企画部 PR・IR グループ

〒535-0005 大阪市旭区赤川 1-4-25

TEL：06-6928-4787 / FAX：06-6923-7680

URL：<http://www.sawai.co.jp> / E-mail：koho@sawai.co.jp

報道関係者各位

【ジェネリック医薬品】 認知状況の推移調査

2004年9月29日

調査概要

消費者調査

調査対象： 首都圏・近畿圏の30～60代の男女 400サンプル

サンプル構成：

	30代	40代	50代	60代	計
男性	50	50	50	50	200
女性	50	50	50	50	200
計	100	100	100	100	400

調査項目： ・「ジェネリック医薬品」の名称認知
 ・「ジェネリック医薬品」の内容認知
 ・「沢井製薬」の社名認知
 ・媒体別広告接触

など

調査手法： インターネット調査

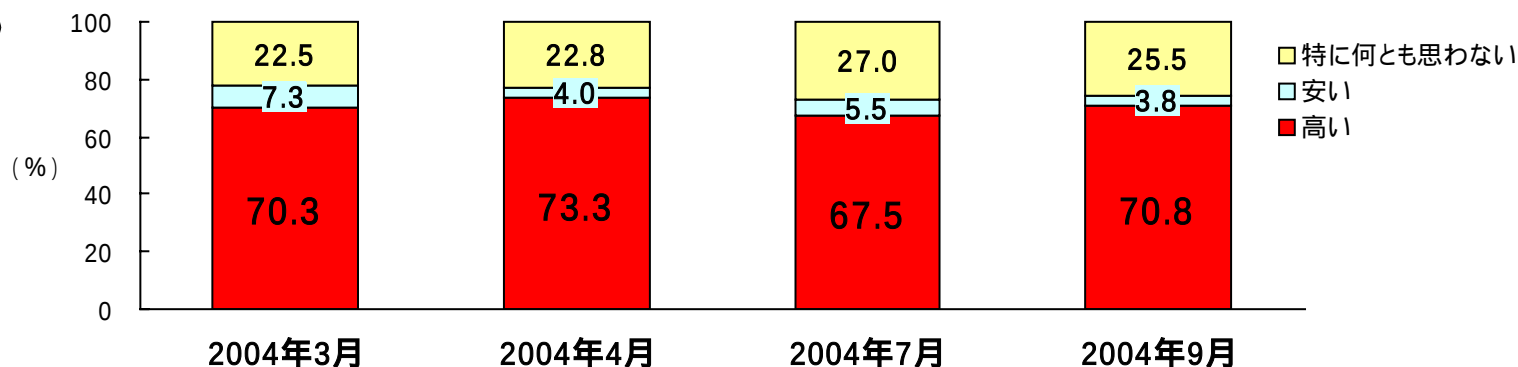
調査期間： 第1回(3月) 2004年3月20日～3月22日
 第2回(4月) 2004年4月21日～4月23日
 第3回(7月) 2004年7月15日～7月18日
 第4回(9月) 2004年9月 1日～9月 5日

医療用医薬品の価格に対する意識

(Q.医療用医薬品の価格についてどう思いますか？)

全体の約70%が「高い」と感じている状況は変わらない。
「安い」と感じている者は非常に少ない。

〈全体〉
(N = 400)



	N	高い			
		3月	4月	7月	9月
全体	400	70.3	73.3	67.5	70.8
男性30代	50	70.0	60.0	54.0	64.0
男性40代	50	72.0	76.0	70.0	72.0
男性50代	50	62.0	86.0	66.0	68.0
男性60代	50	64.0	78.0	76.0	76.0
女性30代	50	66.0	72.0	68.0	76.0
女性40代	50	80.0	64.0	64.0	70.0
女性50代	50	70.0	70.0	70.0	66.0
女性60代	50	78.0	80.0	72.0	74.0

安い			
3月	4月	7月	9月
7.3	4.0	5.5	3.8
8.0	10.0	2.0	2.0
6.0	2.0	12.0	4.0
8.0	2.0	4.0	4.0
8.0	4.0	4.0	-
12.0	6.0	2.0	2.0
6.0	4.0	6.0	8.0
4.0	4.0	8.0	8.0
6.0	-	6.0	2.0

特に何とも思わない			
3月	4月	7月	9月
22.5	22.8	27.0	25.5
22.0	30.0	44.0	34.0
22.0	22.0	18.0	24.0
30.0	12.0	30.0	28.0
28.0	18.0	20.0	24.0
22.0	22.0	30.0	22.0
14.0	32.0	30.0	22.0
26.0	26.0	22.0	26.0
16.0	20.0	22.0	24.0

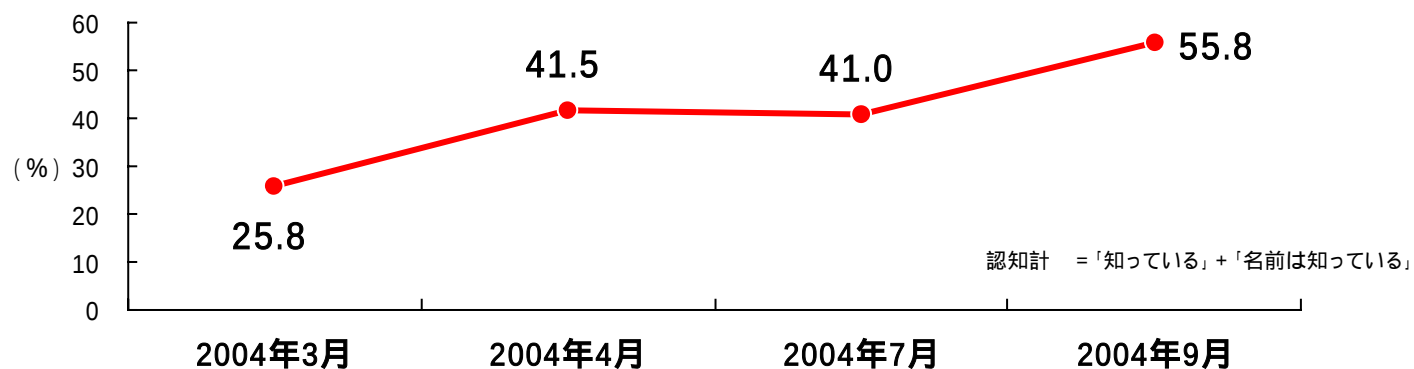
ジェネリック医薬品の認知

(Q.ジェネリック医薬品をご存知ですか？)

「ジェネリック医薬品」の認知率は9月の時点では56%に達している。
(特に男性40代・50代、女性40代で認知率が高くなっている)

〈認知計 全体〉

(N = 400)



	N	知っている			
		3月	4月	7月	9月
全体	400	11.0	16.5	21.0	26.8
男性30代	50	12.0	18.0	24.0	22.0
男性40代	50	10.0	18.0	22.0	32.0
男性50代	50	10.0	18.0	22.0	36.0
男性60代	50	20.0	12.0	24.0	24.0
女性30代	50	10.0	16.0	16.0	28.0
女性40代	50	10.0	10.0	18.0	22.0
女性50代	50	8.0	30.0	22.0	24.0
女性60代	50	8.0	10.0	20.0	26.0

名前は知っている			
3月	4月	7月	9月
14.8	25.0	20.0	29.0
6.0	10.0	14.0	26.0
10.0	18.0	14.0	30.0
24.0	28.0	12.0	26.0
12.0	30.0	22.0	30.0
24.0	36.0	32.0	26.0
20.0	34.0	22.0	40.0
12.0	18.0	26.0	26.0
10.0	26.0	18.0	28.0

認知計			
3月	4月	7月	9月
25.8	41.5	41.0	55.8
18.0	28.0	38.0	48.0
20.0	36.0	36.0	62.0
34.0	46.0	34.0	62.0
32.0	42.0	46.0	54.0
34.0	52.0	48.0	54.0
30.0	44.0	40.0	62.0
20.0	48.0	48.0	50.0
18.0	36.0	38.0	54.0

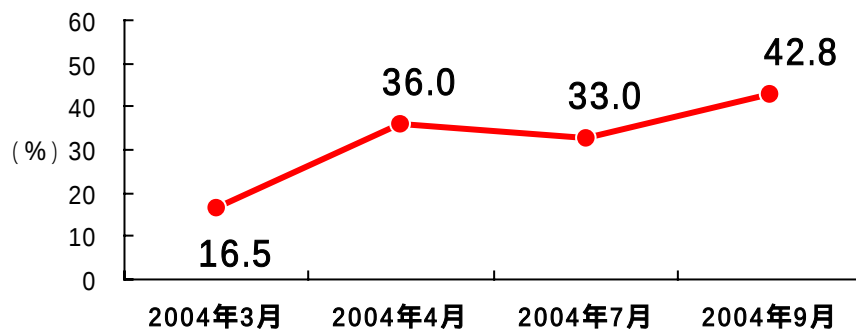
認知 計は「知っている」 + 「名前は知っている」

ジェネリック医薬品の特徴認知

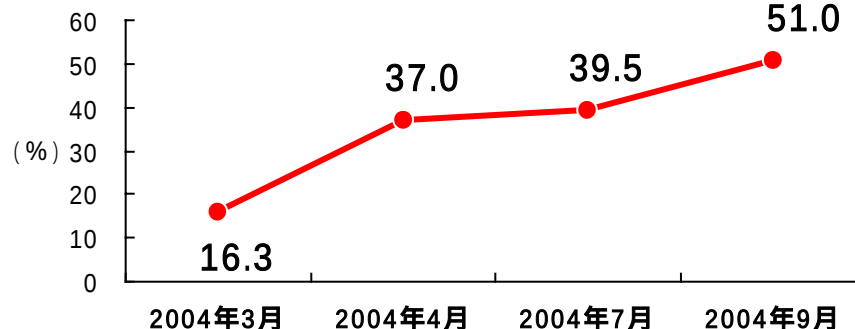
(Q.ジェネリック医薬品の特徴をご存知ですか?)

「新薬特許満了後に発売されること」「新薬と同じ成分・効き目であること」は
認知率が50%を越えている。

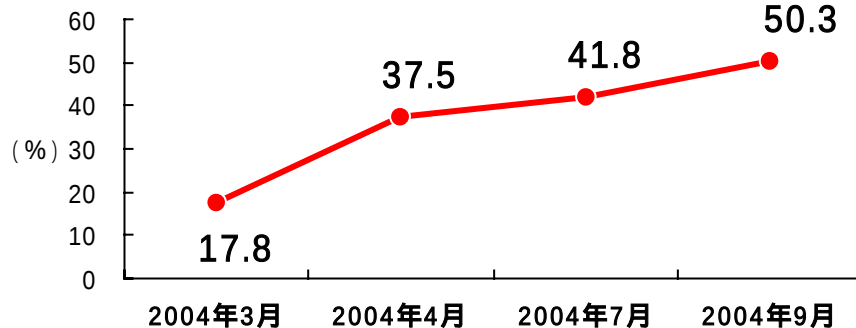
〈お医者さんから処方される〉



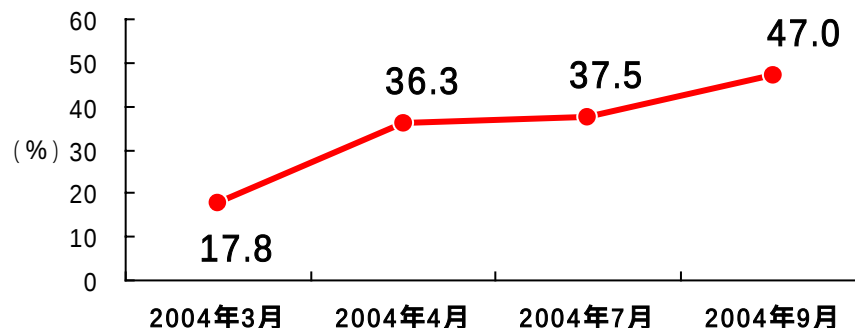
〈新薬の特許期間満了後に発売〉



〈新薬と同じ成分・同じ効き目〉

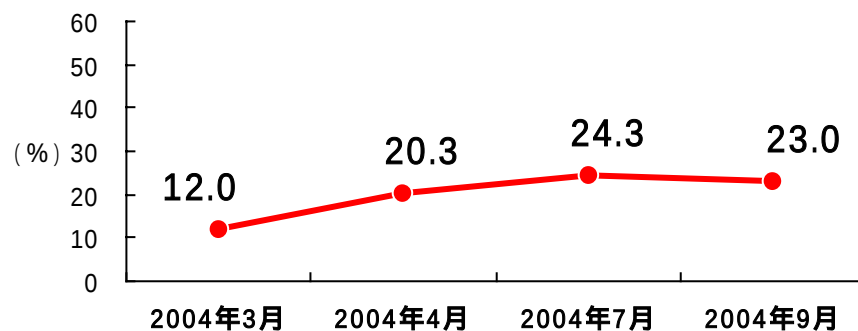


〈薬価は平均すると約半額〉

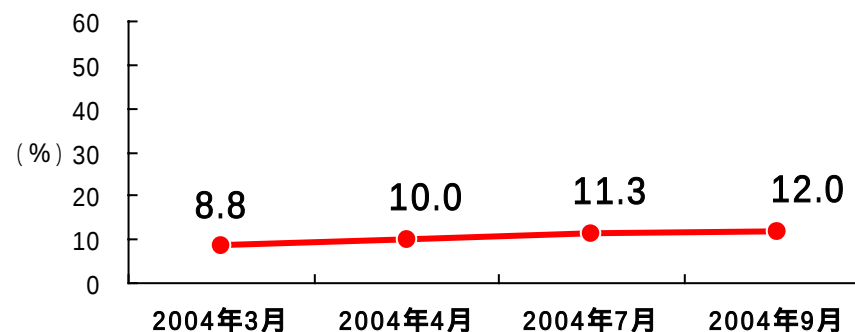


(N = 400)

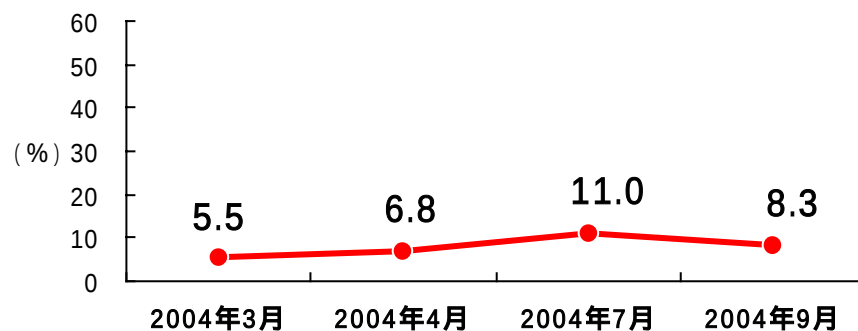
〈品質は厚生労働省承認済み〉



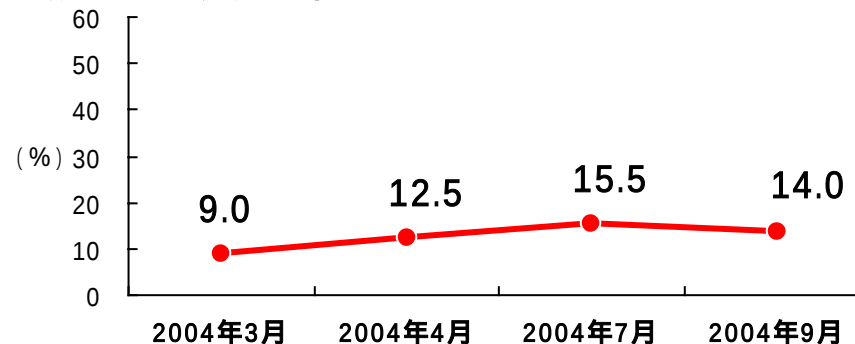
〈全ての薬効群で展開〉



〈WHOが使用促進を提唱〉



〈欧米では医療用医薬品の50%を占める〉



(N = 400)

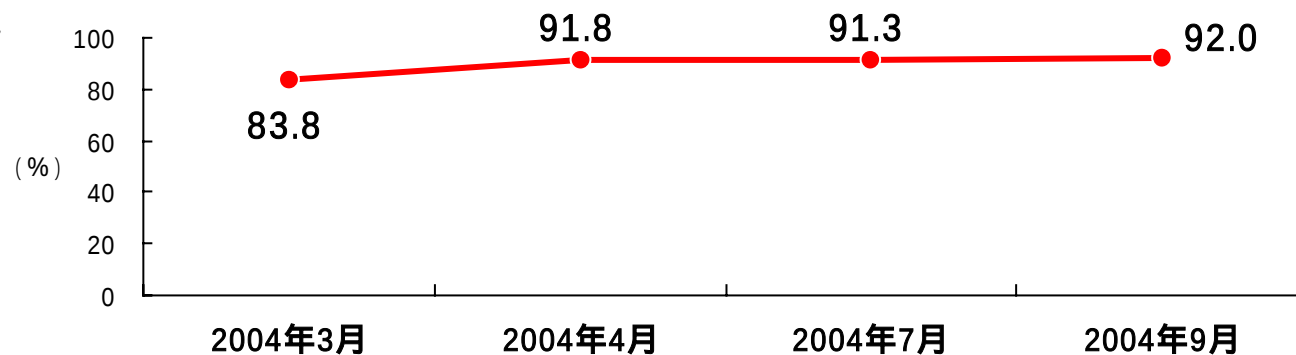
ジェネリック医薬品処方希望

(Q.ジェネリック医薬品を処方して欲しいと思いますか？)

ジェネリック医薬品の処方を望む率は90%以上で高位安定している。

〈処方意向 全体〉

(N = 400)



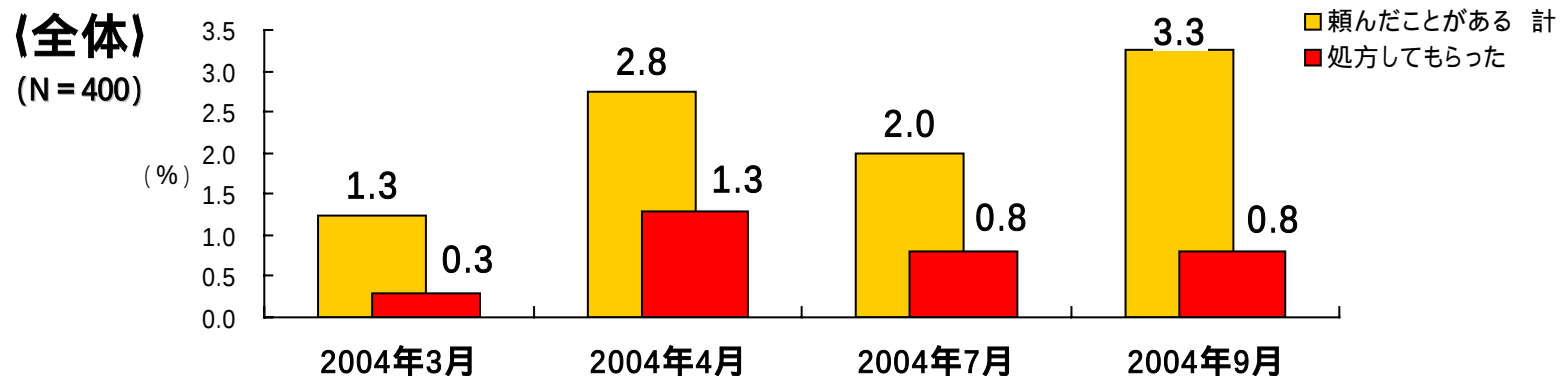
(%)

	N	処方して欲しい			
		3月	4月	7月	9月
全体	400	83.8	91.8	91.3	92.0
男性30代	50	76.0	86.0	90.0	92.0
男性40代	50	96.0	92.0	90.0	92.0
男性50代	50	84.0	96.0	86.0	90.0
男性60代	50	80.0	94.0	96.0	100.0
女性30代	50	84.0	92.0	92.0	88.0
女性40代	50	88.0	92.0	96.0	94.0
女性50代	50	84.0	98.0	90.0	90.0
女性60代	50	78.0	84.0	90.0	90.0

ジェネリック医薬品処方依頼経験

(Q.ジェネリック医薬品の処方を頼んだことがありますか？)

実際に処方を依頼したことがほとんどない状況は変わらない。



		頼んで処方してもらった				頼んだことがある 計			
	N	3月	4月	7月	9月	3月	4月	7月	9月
全体	400	0.3	1.3	0.8	0.8	1.3	2.8	2.0	3.3
男性30代	50	-	-	-	4.0	2.0	-	4.0	4.0
男性40代	50	2.0	2.0	2.0	2.0	4.0	2.0	2.0	4.0
男性50代	50	-	-	-	-	2.0	4.0	2.0	2.0
男性60代	50	-	-	2.0	-	-	-	4.0	12.0
女性30代	50	-	2.0	-	-	-	2.0	2.0	-
女性40代	50	-	-	-	-	2.0	-	-	-
女性50代	50	-	6.0	-	-	-	10.0	-	-
女性60代	50	-	-	2.0	-	-	4.0	2.0	4.0

「頼んだことがある計」は、「頼んで処方してもらった」+「頼んだことはあるが処方してもらったことはない」+「頼んだことはあるが処方してもらったかどうかは分らない」